

「Using TA-C to Undo Severe Scapegoating of Children」

子どもと家族の治療的アセスメント-スケープゴートからの立ち直り

Stephen E. Finn, Ph.D. (Center for Therapeutic Assessment)

2014年3月2日(日) 12:00-17:00 講演&ワークショップ
SUNDAY, 2 MARCH

会場:芝蘭会館 別館 研修室1
参加費:無料

スティーヴン・E・フィン博士

治療的アセスメントセンター(Center for Therapeutic Assessment)の創設者。テキサス大学オースティン校の臨床教授、イタリアのミラノ市にあるヨーロッパ治療的アセスメントセンターの理事を務める。クライアントが自分自身をより深く理解し、問題を解決するための支援として心理アセスメントを活用する「治療的アセスメント」のパラダイムと手続きを提唱、その実践は現在各地に広まりつつある。

2002年から2004年にかけては Society for Personality Assessment の会長という重責を担い、2003年には論文「Therapeutic assessment of a man with "ADD"」により、その年の最も優れた質的研究に贈られる Martin Mayman 賞を、2011年には研究、臨床、教育における長年の貢献により、Bruno Klopfer Award を受賞している。

2010年1月の包括システムによる日本ロールシャッハ学会(JRSC)主催による研修講座と2011年7月の国際ロールシャッハ学会の際に来日、そこで提示された生き生きとした心理アセスメントの未来は、参加者の記憶に強く残るものであった。

2014年5月には JRSC 第20回記念大会における基調講演とワークショップが予定されている。

著作: "In Our Clients' Shoes"(2007)と "Collaborative / Therapeutic Assessment: A Casebook and Guide"(2012)など

●詳細

3月2日(日) 講演&ワークショップ (通訳あり)

講師: スティーヴン・E・フィン博士

橋本忠行(札幌学院大学人文学部臨床心理学科准教授)

司会: 工藤晋平(京都大学グローバル生存学大学院)

11:30 受付開始

対象: 心理臨床業務に携わる方、大学院生、
その他関係領域に従事する方

定員: 100名

●会場

京都大学 芝蘭会館別館 研修室1

京都市左京区吉田牛ノ宮町 11-1

TEL075-771-0958

<http://www.shirankai.or.jp/>



●申込方法: 件名を「ワークショップ参加希望」とし、以下の5点を明記してメールにてお申し込み下さい。

①名前、②所属、③郵便番号・住所、④電話番号(携帯番号可)、⑤メールアドレス

後日、メールにて参加の可否をお知らせいたします。

申込期限: 2014年2月20日必着

*申込・お問い合わせ: finnproject2014@gmail.com

企画責任者: 高橋靖恵 (京都大学大学院 教育学研究科)

主催: 京都大学大学院教育学研究科